

上森町長 こんにちは。本日はお時間をいただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

先日7月30日の野外公演「能勢人形浄瑠璃鹿角座まちかねt a公演 at 大阪大学」お疲れさまでした。日中は猛暑で大変でしたが、ご来場いただく頃の夕刻には風もあり、学生さんや近隣住民の方々などたくさんの方に観劇いただけてよかったです。



傾城阿波の鳴門



日高川入相花王

永田教授 本当に皆さまが楽しんでおられる様子を拝見し、私も嬉しかったです。

古来より演劇はローマ、ギリシャなど野外で演じられることが多く、世界の演劇を研究する私としましてはこの野外公演は本当に感激しました！

また今回は大阪大学がクラウドファンディングで寄附を募ったことでも実現に至り、有難いことです。



大阪大学副学長 総合学術博物館長
永田靖文学研究科教授
日本演劇学会会長を務められるなど
演劇学者としてご活躍されています。

上森町長 大阪大学と能勢町はさまざまな分野で協力し合いやってきましたよね。その結果平成27年2月17日に包括協定を締結しました。

永田教授 そうですね。なかでも浄瑠璃シアターと伝統文化を通しての協力関係を築いてきたことが大きいですね。平成23年には日本で初の国際演劇学会を浄瑠璃シアターで開催した際にもいろいろとお世話になりました。海外からの参加者が一様に、能勢の自然星の輝き、そして新鮮な食材を生かした料理に感銘していたことを思い出します。

上森町長 その時は役場職員で町長公室長でした。よく覚えていますよ。永田教授 そうでしたか。何かご縁がその頃からあったのでしょうか！その時にも鹿角座さんに人形浄瑠璃を上演していただきました。文化レベルの高い町だとみんな感心していました。町長自らも浄瑠璃をされていますね(笑)



上森町長 そうです。語りは30歳ぐらいの時に誘われ、逃げ切れず(笑)始め、なかなか時間は取れませんが、今は三味線も弾いています。

永田教授 町長も浄瑠璃をされていることは凄いことですね。能勢には素浄瑠璃や人形浄瑠璃、そしてPRキャラクターの「お浄とるりりん」という新しい風も入れ、若者にも広げていこうとする工夫は素晴らしいですよ。

上森町長 「お浄とるりりん」も女の子ですが、とにかく女性のパワーが凄いです。

です！

永田教授 大学でも劇団でも女性の活躍が増えていますよ。

上森町長 今回の野外公演もですが、今後大阪大学と能勢町で何か新しいことに取り組んでみたいですね。

永田教授 そうですね！大阪大学社会学共創機構社会学共創本部とも連携して、能勢町の魅力を活用していくと、いろいろ可能性が見出せると思います。

上森町長 未来ある子ども達に伝統を継承することは勿論ですが、誇りをもってもらえる「まちづくり」を私たちが築き継承していくことも大切と考えます。どうかよきアドバイスを永田先生をはじめ大阪大学さまにもお願いいたします。

永田教授 こちらこそどうぞよろしく願っています。

上森町長 本日はありがとうございます。



左から永田教授・上森町長
大阪大学総合学術博物館マチカネワニ模型前にて
マチカネワニ：昭和39年に大学構内で発見。

日本で発見されたワニ類化石第一号